

科学的な吃音矯正法 吃音矯正事業(その3)

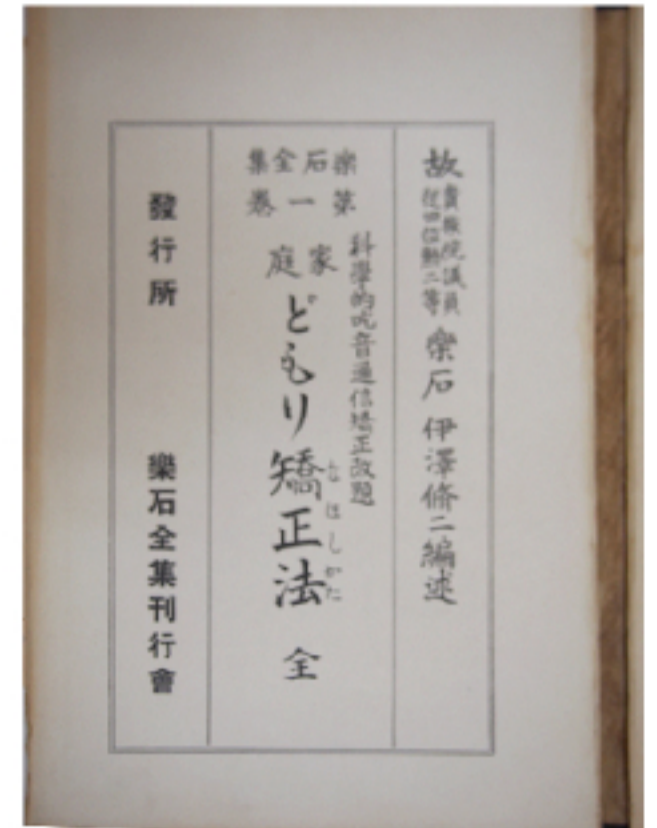
家庭でできる吃音矯正への取り組み



「樂石社の吃音矯正授業の様子」(資料 16 要覧より)

伊澤の最晩年、樂石社で直接矯正を受けられない人にも、なんとか矯正の道をとという熱い思いで始まり、伊澤の死後に再開されたのが『家庭どもり矯正法』(大正 10 年刊) (資料 18) である。

この方法の一番の特色は、伊澤自らが発明し、特許を取得した量氣計を用いてい

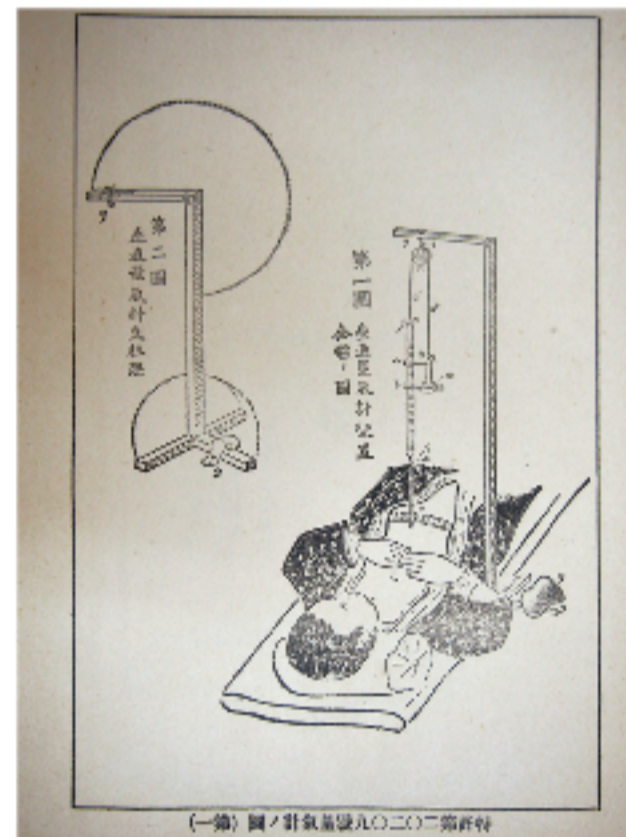


資料 18 「家庭どもり矯正法」

る点であり、矯正方法を実に科学的に説明している。

まず、量氣計を使用して、正しい腹式呼吸を身につけさせる。次に、声帯の開閉を自在にするように訓練をする。そして、鏡や舌押えを用いて、正しい口形や舌の位置を作り、正しく発音することを学ばせている。また、発音に関する体内主要の図などを入れて、説明している。

「吃音は必ず本書によって全治する…神に誓って明言する」と述べているように、伊澤がこの吃音矯正に絶対的な自信をもっていたことが分かる。



「量氣計の図と特許証」(資料 18 より)

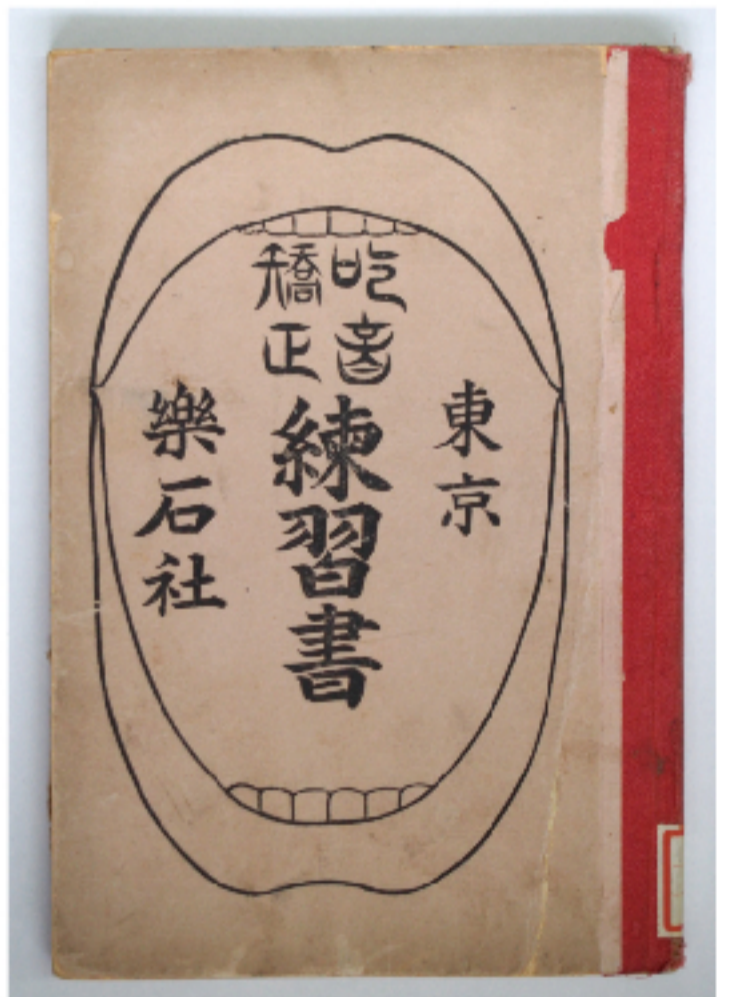


練習に必要な時間と物品

全治するためには「毎日 6 時間ずつ一ヶ月の間欠かさず休まず練習」と記されており、かなり根気よく練習することが求められている。また、どんな声を出しどんな速度で練習すればよいか分からない人のため、

レコードを用意している。当時の最新技術を用いている点でも、矯正事業への熱意を感じる。

練習に必要な物品の定価表によれば、「練習書」(資料 19) 1 円 80 銭、量氣計 9 円、吃音矯正用蓄音器レコード 3 円 50 銭、口形模型石膏細工五種 3 円 50 銭とあり、合計 17 円 80 銭が必要なが分かる。



資料 19 「吃音矯正練習書」

定 価 表	
吃音矯正練習書 全 (樂石社出版)	定価金壹圓八拾銭
量氣計 (箱面方)	定価金九圓
吃音矯正用蓄音器レコード 一枚	定価金壹圓五拾銭
口形模型石膏細工五種 一組	定価金壹圓五拾銭

● 左に練習に必要なる物品の定価表を書きつけておくから入用の方は注意なさい。

發賣所 樂石全集刊行會 東京市小石川區第六天町九十番地 電話東京五七五二番

「物品の定価表」(資料 18 より)

17 円 80 銭の価値は?

大正 10 年の米価は、1 k g 35 銭 50 厘です。現在の米価 1 俵 (60 k g) を約 16,000 円とすると、1 k g 約 267 円になります。そこから計算すると、大正 10 年の 1 円は、現在の約 7,743 円となり、17 円 80 銭の価値は、約 14 万円弱となります。

また、心得るべき大切な条項の中で「飲食物について 2 つだけ慎まねばならぬ物」として、「酒とたばこ」をあげている。呼吸の量を減らし肺の量を小さくするとして、「すこぶる有害」と述べている。